

教育システム情報学会

Japanese Society for Information and Systems in Education

ニュース・レター No.150

JSiSE

発行日 2007年9月30日
発行所 教育システム情報学会
発行者 岡本 敏雄
〒533-8533
大阪市東淀川区大隅2-2-8 大塚登大大学内
TEL06-6990-3638 FAX06-6990-3638
<http://www.jsise.org/>
E-mail: secretariat@jsise.org

会長就任の挨拶

電気通信大学 岡本敏雄

再度の会長就任となります。宜しくご支援、ご協力をお願いしたく思います。理事・評議委員はもとより、全ての会員の方々が本学会に強いかかわりを持って下さるようお願いし、またそのような仕組み、雰囲気を作って生きたいと思えます。再登板ということですが、新たなビジョンを掲げて、新たな気持ちで、会員数2000名を目指したいと思えます。質と量の拡大、充実を図りたいと思えます。

さて、全ての事象において、大競争（メガ・コンピティション）時代に入り、生きていくということが大変しんどい時代に入ってきました。政治も行政も混沌とし、社会の秩序や構造が旧来のものが通じなくなってきました。教育のあり方も同様であります。こうした中で学会というものが社会にどのような貢献ができるか、何をしなければならぬかを考えていくことが必要になります。機動性のある体制、現実的な様々な教育問題、将来を見据えた事柄等を、学問としての価値を、新しい視点で見直し、創造していく必要があります。

次ページ



もくじ

会長就任の挨拶	1
第32回全国大会終了報告	3
第33回通常総会報告	5
国際会議案内	23
ITS2008のご案内	24
2006年度第6回研究会報告	26
研究報告のお求めについて	26
2007年度第3回研究会プログラム	27
2007年度第4回研究会プログラム	28
2007年度第5回研究会講演募集	30
2007年度第6回研究会講演募集	31

E-Learning、情報教育、学習・教育・訓練を支援するメディア／ツール、SNSなどの社会的ネットワークの活用、e-Pedagogy、人工知能技術応用等様々な研究対象がありますが、他学会との差別化を意識し、一歩先んじた理論、技術、応用研究を目指した魅力的な学会にしていく必要があります。同時に国際的な活動も必要です。技術と教育課題をシステムという視点からバランスの取れた我が国唯一の専門学会としての確立をより一層、目指していきたく思います。

これらの挑戦的な目標に、どれほど迫れるか分かりませんが、皆様方からお知恵を頂き、また実際的な活動支援を頂ければ、誠に幸いに思います。国際的には、前述したような方向性を有した多くの学会または国際会議が催され、これまた競争的な状況です。さらに国の政策等への様々な助言活動もこれからの学会の使命であると思います。

最後に、できるだけ多くの会員の皆様の関与 (involvement) と貢献 (contribution) をお願い、頂戴し、生産的で活気のある学会にしていきたく思います。



教育システム情報学会第 32 回全国大会終了報告

全国大会実行委員長 大下真二郎 (信州大学)

平成 19 年 9 月 12 日 (水) から 14 日 (金) までの 3 日間、信州大学工学部において、教育システム情報学会第 32 回全国大会を開催させていただきました。

信州大学工学部がある長野市は、東京からは新幹線で 1 時間半とはいえ、他の地域からの移動はそれほど便が良くなく、果たしてどのぐらいの方に集まっていたか心配しておりましたが、236 件の発表と連日 400 人を越える方のご参加をいただき、盛大な全国大会となりました。これもひとえに会員の皆様、共催・後援をいただきました多くの団体の皆様、基調・特別・招待後援をいただきました講師の方々、当日の機材をお貸しいただきました企業の皆様、企業展示・書籍販売にご出展いただきました企業の皆様、企画デモセッションに参加いただきました多くの関係者の皆様、そして当日お忙しい中ご参加いただきました全ての皆様のおかげです。本当にありがとうございました。

また、本大会の実施にあたり、伊藤紘二会長をはじめ理事・評議員、プログラム委員の皆様には大変大きなお力添えをいただきました。さらに、ワークショップや企画セッションの企画運営をいただきました各委員会の皆様、各セッションの座長を務めていただきました多くの先生方にも深く感謝いたします。おかげさまで、明日の研究につながる活発な議論をすることが出来ました。

また、全国大会企画委員、実行委員の皆様には、準備段階より幾度も会議を重ね、また当日の様々な運用にもご協力をいただきました。ありがとうございます。さらに、信州大学の多くの教職員の皆様にも多大なるご協力をいただき、学生スタッフの皆様にも学会活動で忙しい時期であるにも関わらず様々な仕事を立派に成し遂げてくれました。これら全ての人の誠意ある活動が揃い、本大会を成功に導くことが出来ました。皆様本当にありがとうございます。

【大会開催内容】

本大会では、「e-Learning の実績と今後の展望」をメインテーマに、誰もが学べる教育の場の創造とその質の向上を志向しました。各セッションにおいては、そのために必要な教育用コンテンツ、教育・学習支援環境、これらを駆使・活用できる組織作り、その教育的効果などに関して多くの研究、実践事例を発表しあい、討論を重ねることで、e-Learning がこれまでに成しえたことを明らかにし、対象者の広がりや高度化を指向した今後について展望しました。また、教育分野におけるコンピュータ利用等に関する学術研究・調査および理論や実践に関する多くの発表も行われ、参加いただいた方にとっての今後の研究の方針と e-Learning の展望を示すものとなりました。

講演は、初日に伊藤紘二会長による基調講演「わかるというのは違いがわかること」が行われ、学習の本質に関する議論が行われました。2 日目にはサイバー大学 IT 総合学部長の石田晴久先生による特別講演「サイバー大学への期待」が行われ、この 4 月に開講した完全 e-Learning による新しい大学の狙いと仕組み、そして現状に関する興味深い話をいただきました。最終日には、信州大学理事の藤沢謙一郎先生による招待講演「信州の伝統的な教育と大学経営から見た教育の情報化への期待」が行われ、IT 大学院を日本で最初に実施した信州大学の財務担当理事として、ICT 活用教育を大学がどうとらえて戦略を立てているのか、そしてその基盤となる信州教育とは何であるのかについてお話いただきました。

また、2つのパネルディスカッションではe-Learningと大学改革との関わり、e-Learningとビジネスとの関わりという大切な2つの側面をそれぞれの実績ある関係者が集まり、議論が行われました。

さらに、今回独自の企画として、企画デモセッション「実践事例に学ぶ e-Learning 教材づくり ―各大学における持続可能な e-Learning の取組―」を開催しました。これは、持続可能なe-Learningの取組に成功している大学に集まっていただき、作成した教材等のデモとともに、持続可能な開発・運用体制について担当者自ら紹介いただくもので、各大学の事例発表と参加大学を中心とした大学間の今後の連携推進を目的とした交流が行われました。

最後に、次年度開催されます熊本大学での第33回全国大会がより充実した大会になることを祈念いたしまして、お礼の挨拶とさせていただきます。



写真1：基調講演



写真2：企業展示



写真3：ワークショップ



写真4：パネルディスカッション

第 33 回通常総会報告

日時：2007年9月13日 12:40～13:50

場所：信州大学工学部 講義棟 A200

議長に伊藤紘二会長が選任され、出席者 235 名（委任状 160 名含む）で総会の成立が宣言された。
下記、第 1～7 号議案についての報告があり、拍手をもって承認された。

第 1 号議案 2006 年度活動報告に関する件

2006 年度の活動について次のとおり報告します。

1. 会員数

	名誉会員	正会員	準会員	企業・ 団体会員	特殊会員	合計
2005 年度会員数 2006. 3. 31 現在	1	1325	195	38	0	1558
2006 年度入会	0	78	39	0	0	117
2006 年度移動	0	+10	-10	0	0	0
2006 年度退会	0	91	26	6	0	123
2006 年度会員数 2007. 3. 31 現在	1	1322	198	32	0	1552
増減	0	-3	+3	-6	0	-6

なお、2007. 7. 26 現在の会員数は、1574 名です

2. 運営活動

2. 1 第 32 回通常総会

日時：2006年8月24日（木）

場所：大阪経済大学

2. 2 理事会・評議会

○第 110 回理事会・評議会

日時：2006年5月27日（土）

場所：大阪経済大学 E館 7階会議室

○第 111 回理事会・評議会

日時：2006年7月29日（土）

場所：畜産会館

○第 112 回理事会・評議会

日時：2006年8月24日（木）

場所：大阪経済大学

○第 113 回理事会・評議会

日時：2006年9月30日（土）

場所：ホテルニュー神田

○第 114 回理事会・評議会

日時：2006年11月11日（土）

場所：東京理科大学 理窓会館

○第 115 回理事会・評議会

日時：2007年2月3日（土）

場所：大阪経済大学 本館 3階特別会議室

○第 116 回理事会・評議会

日時：2007年3月31日（土）

場所：畜産会館

3. 事業活動

3.1 研究会の開催

テーマ	担当	日時	場所
第1回 eラーニング環境のデザイン/一般	松居辰則 仲林 清	2006/6/9 (金)	早稲田大学
第2回 探求学習とハイパーメディア (学習コンテンツのメタデータ利用、コンテンツレポジトリを含む) /一般	渡辺成良 不破 泰 野崎造成	2006/7/8 (土)	信州大学
第3回 学習の身体性とマルチモーダルインタフェース (音声言語インタフェースを含む) /一般	小西達裕 平嶋 宗	2006/9/15 (金)	東京理科大学 理窓会館
第4回 高等教育と生涯学習におけるICT活用/一般	黒瀬能幸 米澤宣義 磯本征雄	2006/11/25 (土)	岐阜聖徳学園 大学
特集研究会 新しいメディア/デバイスを活用した学習支援環境	松居辰則 小西達裕	2006/12/9 (土)	大阪経済大学
第5回 モバイル・ユビキタス学習環境/一般	柏原博昭 佐々木整	2007/1/27 (土)	八王子市学習 都市センター
第6回 大学における情報教育の新たな展開—教科「情報」との接続性—/一般	松永公廣 西野和典	2007/3/17 (土)	千里金蘭大学

3.2 委員会活動 他

- 国際化委員会：JSISE—英国教育省—JAPET 共催 国際フォーラム
テーマ：英国の学校での e-Learning の展開
実施日：2006年6月22日(木)
場 所：東京 プリティッシュカウンシル東京センター
実施日：2006年6月25日(日)
場 所：大阪 大阪大学中ノ島センター
- 国際化委員会：IFIP—ITEM2006
開催日：2006年7月23日(日)～25日(火)
場 所：アクティビティ浜松コンgresセンター
- 国際化委員会：オーストラリア関連学会との交流ツアー
実施日：2006年11月29日(水)～12月3日(日)
訪問地：シドニー
参加者：4名
- 国際化委員会：IASTED-WBE2007
開催日：2007年3月14日(水)～16日(金)
場 所：フランス
協 賛：教育システム情報学会
- 渉外・活性化委員会：JSiSE 学生・院生研究発表会 (ワークショップ)
実施日：2006年8月23日(水)
場 所：大阪経済大学
- 渉外・活性化委員会：JSiSE 学生・院生研究発表会
実施日：2007年3月3日(土) 13:30-17:30
場 所：電気通信大学
- 情報教育特別委員会：情報教育に関する調査実施
大学新入生に対する教科「情報」知識および意識調査
実施日：2006年4月～5月
場 所：全国14大学(短期大学を含む)
実施結果は、第31回全国大会初日に、情報教育特別委員会主催で開催したワークショップにて報告。
- 情報教育特別委員会：教科「情報」大学入試フォーラム
実施日：2006年7月30日(日) 13:30～17:00
場 所：専修大学神田キャンパス 7号館731教室

○情報教育特別委員会：「情報の科学的な理解」を促進するための高校教員および高校生参加型のワークショップ

テーマ：“コンピュータにおける情報の処理” 理解促進用教育プログラム
－Let's GOGO！マジカル・スプーン－

実施日：2006年11月25日（土）10:00～16:00

場 所：専修大学神田キャンパス

○e-Learning システム技術特別委員会：e-Learning World2006（出展）

開催日：2007年7月26日（木）～28日（土）

場 所：東京ビッグサイト

3. 3 学会誌の発行

○論文誌

Vol. 23No. 2 JSiSE2006

Vol. 23No. 3 JSiSE2006

Vol. 23No. 4 JSiSE2006

Vol. 24No. 1 JSiSE2007

○英文誌

Vol. 5No. 1 JSiSE2006

3. 4 研究報告書の発行

Vol. 21, No. 1 研究報告

Vol. 21, No. 2 研究報告

Vol. 21, No. 3 研究報告

Vol. 21, No. 4 研究報告

Vol. 21, 特集研究会 研究報告

Vol. 21, No. 5 研究報告

Vol. 21, No. 6 研究報告

3. 5 ニューズレターの発行

No. 141 2006年 5月 31日

No. 142 2006年 6月 30日

No. 143 2006年 7月 31日

No. 144 2006年 9月 30日

No. 145 2006年 11月 30日

No. 146 2007年 1月 31日

No. 147 2007年 3月 31日

3. 6 全国大会

第31回全国大会

開催日時：2006年8月23日（水）～25日（金）

場 所：大阪経済大学

4. 支部活動

4. 1 関西支部

1) 支部評議員会

2006年度関西支部評議員会

実施日：2006年5月20日（土）13:00-14:00

場 所：摂南大学 寝屋川キャンパス 11号館8階 経営情報学部 ゼミ室

議 題：

①2005年度事業報告

④2006年度予算

②2005年度収支決算報告

⑤その他

③2006年度事業計画

2) 支部研究会

(1) 第14回卵RUNフォーラム

実施日：2006年9月2日（土）10:50-16:30

場 所：香川大学

(2) 初等中等教育研究会

実施日：2006年11月11日（土）13:30-17:30

場 所：常磐会学園大学

(3) 高等教育研究会

実施日：2006年12月9日（土）13:00-17:00

場 所：摂南大学 経営情報学部 11号館8階ゼミ室

3) 学生発表会

第 21 回学生によるコンピュータ利用研究発表会
実施日：2007 年 3 月 3 日（土） 13：00-17：00
場 所：常磐会学園大学

4) 後援・協賛

- (1) 協調自律学習のカスタマイジング講座
日程：2006 年 8 月 26 日（土）
場所：千里金蘭大学 3 号館 5 階
主催：学習開発研究所
- (2) 国際フォーラム ユビキタス情報通信技術によるネット学習と市民大学の可能性
日程：2006 年 11 月 6 日（土）
場所：京都市「ひと・まち交流館京都」
主催：学習開発研究所
- (3) 第 8 回合同研究会
日程：2006 年 12 月 2 日（土）
場所：園田学園女子大学 開学 30 周年記念館 4 階 情報教育センター
共催：兵庫県教育工学研究会教科情報部会、ひょうご e-スクールコンソーシアム情報教育研究部会、情報コミュニケーション学会情報教育委員会、近畿情報教育連合
- (4) 情報コミュニケーション学会 第 4 回全国大会
日程：2007 年 2 月 17 日（土）、18 日（日）
場所：摂南大学 寝屋川学舎 10 号館 6 階
主催：情報コミュニケーション学会
- (5) 第 17 回ソフトサイエンス・ワークショップ
日程：2007 年 3 月 16 日（金）、17 日（土）
場所：大阪国際大学 守口キャンパス 6 号館 4 階
主催：日本知能情報ファジィ学会ソフトサイエンス研究部会

4. 2 東海支部

1) 2006 年度 総会および幹事会

- (1) 第 1 回「幹事会」および 2006 年度「総会」
日時：2006 年 6 月 24 日（土）14：00-15：00
会場：中部大学技術・医療専門学校 6 階大ホール
議題：
①2005 年度活動報告
②2005 年度会計報告
③2006 年度活動計画（案）
④2006 年度予算（案）
報告：①教育システム情報学会 全国大会
その他 連絡事項など
- (2) 第 2 回「幹事会」
日時：2006 年 8 月 3 日（木）14:00-14:30
会場：中部大学技術・医療専門学校 4 階 408 教室
- (3) 第 3 回「幹事会」
日時：2006 年 12 月 16 日（土）14:30-15:00
会場：名古屋外国語大学 6 号館 4 階 644 教室
- (4) 第 4 回「幹事会」
日時：2007 年 2 月 17 日（土）14:30-15:00
会場：名城大学 天白キャンパス タワー75 10 階 1002 室

2) 研究会

- (1) 日時：2006年6月24日(土) 15:00-16:30
会場：中部大学技術・医療専門学校 6階大ホール
①講演者：岐阜聖徳学園大学短期大学部 津森伸一
テーマ：「特許のはなし」
②講演者：愛知教育大学 野崎浩成
テーマ：「情報モラル体験型学習教材の開発
－高等学校普通教科「情報」での授業実践研究－」
- (2) 日時：2006年8月3日(木) 14:30-16:30
会場：中部大学技術・医療専門学校 4階408教室
①講演者：岐阜聖徳学園大学 磯本征雄、近松 亮
テーマ：「ゲームを用いた知的資質の評価に関する議論」
- (3) 日時：2006年12月16日(土) 15:00-16:30
会場：名古屋外国語大学 6号館4階644教室
①講演者：岐阜聖徳学園大学 磯本征雄
テーマ：「ゲームを用いた知的資質の評価について(再)」
- (4) 日時：2007年2月17日(土) 15:00-16:30
会場：名城大学 天白キャンパス タワー75 10階1002室
①講演者：名城大学 山崎初夫
テーマ：「車載情報システムの情報提示方法に関する研究」

3) その他

- (1) CMS、Moodleに関する意見交換会
日時：2006年9月9日(土) 11:00より
会場：岐阜聖徳学園大学 岐阜キャンパス 3号館2階 国際経済情報システム研究所
- (2) 教育システム情報学会 研究会
日時：2006年11月25日(土) 13:00-16:40
会場：岐阜聖徳学園大学 岐阜キャンパス
テーマ：生涯学習と高等教育
- (3) 東海支部協賛の研究会
第21回東海フェジィ研究会
日時：2006年8月7日(月)～8日(火)
会場：松風園(愛知県蒲郡市)
- (4) 教育システム情報学会 第31回全国大会
日時：2006年8月23日(水)～25日(金)
会場：大阪経済大学

4. 3 中国支部

1) 中国支部総会

- 日時：2006年7月1日(土) 12:30-13:00
会場：松江工業高等専門学校 大講義室(図書館2階)
議題：
①2005年度活動報告
②2005年度決算報告と監査報告
③支部役員選挙結果報告
④中国支部功績賞・功労賞規定案
⑤2006年度活動方針案
⑥2006年度予算案
⑦その他

2) 中国支部研究発表会

- 日時：2006年7月1日(土) 13:00-16:00
会場：松江工業高等専門学校 大講義室(図書館2階)
対象：教育システム情報学会中国支部会員、教員、院生、学生、社会人
内容：教育システム情報に関連した研究についての研究発表
参加者数：21人

第2号議案 2006年度決算報告書に関する件

2006年度の決算を次のように報告いたします。

1. 2006年度収支決算書総括表（2006年4月1日から2007年3月31日）

(1) 収入の部

(単位：円)

科 目	合 計	通常会計	事業会計
1. 入会金	108,000	108,000	—
2. 会費	11,806,900	11,806,900	—
3. 資料販売等	2,660,365	2,660,365	—
4. 広告収入	150,000	150,000	—
5. 全国大会	6,134,270	—	6,134,270
6. 企画セミナー	0	—	0
7. 雑収入	321,746	51,246	270,500
当期収入合計 (A)	21,181,281	14,776,511	6,404,770
前年度繰越収支差額	2,979,140	1,755,344	1,223,796
収入合計 (B)	24,160,421	16,531,855	7,628,566

(2) 支出の部

(単位：円)

科 目	合 計	通常会計	事業会計
1. 印刷費	4,018,454	4,018,454	—
2. 通信費	1,517,015	1,517,015	—
3. 会議費	355,109	355,109	—
4. 旅費	488,150	488,150	—
5. 人件費	3,582,617	3,582,617	—
6. 消耗品費	125,735	125,735	—
7. 支部支援費	337,375	337,375	—
8. 賃借料	472,500	472,500	—
9. 全国大会	5,150,434	—	5,150,434
10. 企画セミナー	0	—	0
11. 30周年記念事業	600,420	—	600,420
12. 雑費	20,870	20,870	0
13. 予備費	6,524	0	6,524
当期支出合計 (C)	16,675,203	10,917,825	5,757,378
当期収支差額 (A) - (C)	4,506,078	3,858,686	647,392
次期繰越収支差額 (B) - (C)	7,485,218	5,614,030	1,871,188

2. 2006年度収支計算書類（2006年4月1日から2007年3月31日）

1) 通常会計収支計算書

(1) 収入の部

(単位：円)

科 目	2006年度予算	2006年度決算	増減	備考
1. 入会金	100,000	108,000	8,000	108人
2. 会費	9,510,000	11,806,900	2,296,900	
正会員	7,280,000	9,772,900	2,492,900	1022人
準会員	480,000	534,000	54,000	112人
企業・団体(維持)会員	1,750,000	1,500,000	△250,000	27社
特殊会員	0	0	0	
3. 資料販売等	3,200,000	2,660,365	△539,635	
研究報告	1,600,000	1,567,000	△33,000	
学会誌	1,600,000	1,093,365	△506,635	別刷の減少
4. 広告収入	1,000,000	150,000	△850,000	学会誌広告掲載による
5. 雑収入	200,000	51,246	△148,754	
当期収入合計 (A)	14,010,000	14,776,511	766,511	
前年度繰越収支差額	1,755,344	1,755,344	0	
収入合計 (B)	15,765,344	16,531,855	766,511	

(2) 支出の部

(単位：円)

科 目	2006年度予算	2006年度決算	増減	備考
1. 印刷費	5,450,000	4,018,454	△1,431,546	
学会誌	2,500,000	1,672,885	△827,115	
英文誌	900,000	1,048,215	148,215	
ニューズレター	450,000	459,270	9,270	
研究報告書	850,000	621,904	△228,096	
封筒印刷費	350,000	178,920	△171,080	
その他印刷費	400,000	37,260	△362,740	コピー代
2. 通信費	2,000,000	1,517,015	△482,985	宅配業者使分けの為
3. 会議費	600,000	355,109	△244,891	大学利用の為
4. 旅費	400,000	488,150	88,150	
5. 人件費	3,600,000	3,582,617	△17,383	契約社員, アルバイト
6. 消耗品費	500,000	125,735	△374,265	事務用品費
7. 支部支援費	550,000	337,375	△212,625	
支部	60,000	60,000	0	3支部×20,000円
研究会委員会	90,000	120,000	30,000	
その他支援費	400,000	157,375	△242,625	
8. 賃借料	472,500	472,500	0	レンタルサーバ
9. 雑費	300,000	20,870	△279,130	支払手数料
10. 予備費	900,000	0	△900,000	
当期支出合計 (C)	14,772,500	10,917,825	△3,854,675	
当期収支差額 (A) - (C)	△762,500	3,858,686	4,621,186	
次期繰越収支差額 (B) - (C)	992,844	5,614,030	4,621,186	

2) 事業会計収支計算書

(1) 収入の部

(単位：円)

科 目	2006 年度予算	2006 年度決算	増 減	備 考
1. 全国大会	5,000,000	6,134,270	1,134,270	
2. 企画セミナー	0	0	0	
3. 雑費	0	270,500	270,500	
当期収入合計 (A)	5,000,000	6,404,770	1,404,770	
前年度繰越収支差額	1,223,796	1,223,796	0	
収入合計 (B)	6,223,796	7,628,566	1,404,770	

(2) 支出の部

(単位：円)

科 目	2006 年度予算	2006 年度決算	増 減	備 考
1. 全国大会	5,000,000	5,150,434	150,434	
2. 企画セミナー	0	0	0	
3. 30周年記念事業	799,400	600,420	△198,980	ICT
4. 予備費	424,396	6,524	△417,872	
当期支出合計 (C)	6,223,796	5,757,378	△466,418	
当期支出差額 (A) - (C)	△1,223,796	647,392	1,871,188	
次期繰越収支差額 (B) - (C)	0	1,871,188	1,871,188	

3. 貸借対照表 (2007年3月31日現在)

(単位：円)

普通預金(みずほ・麴町) 1325993	2,478,724	前受金		4,516,370	
普通預金(みなと・塚口) 1514304	29,822	未払金		999,325	
普通預金(池田・上新庄) 13440	1,644,640	負債合計		5,515,695	
普通預金(みずほ・麴町) 2132303	1,353,988				
普通預金(みずほ・本郷通) 8040276	486,967	基本金		4,237,205	
普通預金(りそな・塚口) 7016502	106				
普通預金(UFJ・上新庄) 4601651	537,494				
郵便振替 6-709632	6,242,805	別途積立金	通常	0	200,000
郵便振替 5-261675	110,000		事業	200,000	
郵便定期(基本財産)	4,237,000	次期繰越収支差額	通常 前期	1,755,344	5,614,030
現金(基本財産)	205		当期	3,858,686	
現金 事務局 97,249 英文誌 19,696 全国大会 102	117,047		事業 前期	1,223,796	1,871,188
未収入金	199,320	当期	647,392		
資産合計	17,438,118	資本合計		11,922,423	
		資本負債合計		17,438,118	

4. 計算書類に対する注記

次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金・預金	2,979,140	7,485,218
合 計	2,979,140	7,485,218

監 査 報 告

教育システム情報学会

会長 伊藤 紘二 殿

2006 年度教育システム情報学会の事業執行の状況並びに、2006 年度財務諸表および決算報告について、厳正に監査した結果、適法かつ妥当であることを確認致しました。

2007 年 9 月 3 日

監 事 今 榮 国 晴
同 小 荒 井 順

第4号議案 2007年度活動計画（案）に関する件

2007年度の活動計画を次のように提案いたします。

2. 運営活動

2.1 第33回通常総会

日時：2007年9月13日（木）

場所：信州大学

2.2 理事会・評議会

○第117回理事会・評議会

日時：2007年5月26日（土）

場所：畜産会館

○第118回理事会・評議会

日時：2007年7月28日（土）

場所：大阪経済大学 E館7階会議室

○第119回理事会・評議会

日時：2007年9月13日（木）

場所：信州大学

○第120回理事会・評議会

日時：2007年9月29日（土）

場所：東京

○第121回理事会・評議会

日時：2007年11月24日（土）

場所：大阪

○第122回理事会・評議会

日時：2008年2月2日（土）

場所：東京

○第123回理事会・評議会

日時：2008年3月29日（土）

場所：東京

3. 事業活動

3.1 研究会の開催

テーマ	担当	日時	場所
第1回 eラーニング環境のデザインと HRD (Human Resource Development) /一般	松居辰則 仲林 清 石打智美	2007年5月25日(金)	NTT武蔵野研究 開発センタ
第2回 Webテクノロジー/一般	不破 泰 野崎浩成 小松川浩	2007年7月14日(土)	千歳科学技術 大学
第3回 問題を中心とした学習支援およびスキル 支援/一般	柏原昭博 平嶋 宗 小尻智子 曾我真人	2007年10月20日(土)	名古屋大学
第4回 生涯学習につながる初等中等教育機関へ のICT学習支援/その他	米澤宣義 黒瀬能幸 林 敏浩	2007年11月24日(土)	香川大学
第5回 モバイル・ユビキタス/一般	渡辺成良 佐々木整	2008年1月25日(金)	八王子学園 都市センター
第6回 次世代情報教育の構築に向けて/一般	松永公廣 西野和典	2008年3月15日(土)	静岡大学

3.2 委員会活動 他

○企画委員会：シンポジウム

テーマ：「教育システムにおけるオープンな潮流について」

実施日：2007年8月30日（木）10：00-18：00

場 所：慶應義塾大学三田キャンパス第一校舎122教室（2階）

主 催：教育システム情報学会学会企画委員会（e-Learningシステム技術特別委員会共催）

○国際化委員会：IEEE-ICALT2007

開催日：2007年7月18日（水）～20日（金）

場 所：新潟 朱鷺メッセ：新潟コンベンションセンター

共 催：教育システム情報学会

- 国際化委員会：ICCE2007
開催日：2007年11月5日（月）～9日（金）
場 所：広島 グランドプリンスホテル広島
共 催：教育システム情報学会
- 国際化委員会：第3回日独ジョイント・ワークショップ2007
開催日：未定
場 所：ドイツ ベルリン
- 渉外・活性化委員会：JSiSE 学生・院生研究発表会
実施日：未定
場 所：東京を含め、全国2～3ヶ所での開催を検討
- 渉外・活性化委員会：
会費の支払時期や会費未払会員の会員資格期限を明確化するための規約改正の検討と提案
- 渉外・活性化委員会：
新会員獲得のための企画の立案と実行
- 情報教育特別委員会：情報教育に関する調査
大学新入生に対する教科「情報」知識および意識調査（2007年版）
実施日：2007年4月～5月
場 所：委員が所属する大学および協力大学（短期大学）
実施結果は、第32回全国大会初日に、情報教育特別委員会主催で開催するワークショップにて報告。
- e-Learningシステム技術特別委員会：e-Learning World2007（出展）
開催日：2007年8月1日（水）～3日（金）
場 所：東京ビッグサイト
- e-Learningシステム技術特別委員会：JSiSE全国大会ワークショップ
ワークショップ名：「e-Learningコンテンツの著作権と法的問題」
実施日：2007年9月12日（水）
場 所：信州大学
オーガナイザ：岡本敏雄、本田敏明
話題提供者：上野晴樹（国立情報学研究所）、田中規久雄（大阪大学）
総合司会：本田敏明

3. 3 学会誌の発行

- 論文誌
Vol. 24No. 2 JSiSE2007
Vol. 24No. 3 JSiSE2007
Vol. 24No. 4 JSiSE2007（特集：新しいメディア/デバイスを活用した学習支援環境）
Vol. 25No. 1 JSiSE2008
- 英文誌
Vol. 6No. 1 JSiSE2007

3. 4 研究報告書の発行

- | | |
|---------------------|---------------------|
| Vol. 22, No. 1 研究報告 | Vol. 22, No. 2 研究報告 |
| Vol. 22, No. 3 研究報告 | Vol. 22, No. 4 研究報告 |
| Vol. 22, No. 5 研究報告 | Vol. 22, No. 6 研究報告 |

3. 5 ニュースレターの発行

- | | |
|---------------------|----------------------|
| No. 148 2007年 5月31日 | No. 149 2007年 7月31日 |
| No. 150 2007年 9月30日 | No. 151 2007年 11月30日 |
| No. 152 2008年 1月31日 | No. 153 2008年 3月31日 |

3. 6 全国大会

- 第32回全国大会
日時：2007年9月12日（水）～14日（金）
場所：信州大学

4. 支部活動

4.1 関西支部

1) 支部評議員会

2007年度関西支部評議員会

実施日：2007年5月12日（土）11:00-12:00

場 所：大阪電気通信大学 寝屋川キャンパス C207 教室

内 容：

- ①2006年度事業報告
- ②2006年度収支決算報告
- ③2007年度事業計画
- ④2007年度予算
- ⑤その他

2) 支部幹事会

数回実施（詳細は未定）

3) 研究会

(1) 初等・中等教育研究会

詳細は未定

(2) 高等教育研究会

テーマ：情報セキュリティ教育

詳細は未定

(3) 若手研究者フォーラム

第15回卵RUNフォーラム

日程：夏（合宿形式の予定）

場所：CSK 大川センター

4) 学生発表会

第22回学生研究発表会

日程：2008年3月1日または8日（土）

場所：未定

5) 展示会、学習会

状況に合わせて企画する

4.2 東海支部

1) 2007年度 総会および幹事会

(1) 第1回「幹事会」

日時：2007年4月28日（土）14:30-15:30

会場：名古屋市立味鋤小学校 コンピュータ室

(2) 第2回「幹事会」および2007年度「総会」

日時：2007年5月19日（土）14:00-15:00

会場：中部大学技術・医療専門学校 408 教室（4階）

議案：

- ①2006年度活動報告
- ②2006年度決算報告及び監査報告
- ③2007年度活動計画（案）
- ④2007年度予算（案）
- ⑤報告、その他

2) 研究会

(1) 第1回研究会

日 時：2007年4月28日（土）15：30-17：30

会 場：名古屋市立味鋺小学校 コンピュータ室

講演者：名古屋市立味鋺小学校 戸田和幸

テーマ：「学校教育におけるネット社会を生きる力の基礎を築く学習について」

(2) 第2回研究会

日 時：2007年5月19日（土）15：00-16：30

会 場：中部大学技術・医療専門学校 408 教室（4階）

講演者：岐阜聖徳学園大学 磯本征雄

テーマ：「学力達成度と主観的達成度に基づく学習指導の数理モデル」

* 研究会は1～2ヶ月に1回の割合で開催する。

3) その他（本学会に関連する活動）

教育システム情報学会第32回全国大会

日 時：2007年9月12日（水）～14日（金）

会 場：信州大学（長野市）

発表申込：2007年6月29日（金）

4. 3 中国支部

1) 中国支部総会

日時：2007年6月30日（土）13:00-13:20

会場：宇野フロンティア大学

議題：

- ① 2006年度活動報告
- ② 2006年度決算報告と監査報告
- ③ 2007年度活動方針案と予算案
- ④ その他

2) 中国支部研究発表会

日 時：2007年6月30日（土）13:30-16:00

会 場：宇野フロンティア大学

対 象：教育システム情報学会中国支部会員、教員、院生、学生、社会人

内 容：教育システム情報に関連した研究についての研究発表

参加者数：23人

第5号議案 2007年度収支予算(案)に関する件

2007年度の収支予算を次のとおり提案します。

1. 2007年度収支予算総括表（2007年4月1日から2008年3月31日）

(1) 収入の部

(単位：円)

科目	合計	通常会計	事業会計
1. 入会金	100,000	100,000	—
2. 会費	8,176,000	8,176,000	—
3. 資料販売等	2,900,000	2,900,000	—
4. 広告収入	1,000,000	1,000,000	—
5. 全国大会	3,000,000	—	3,000,000
6. 企画セミナー	0	—	0
7. 30周年記念事業	0	—	0
8. 雑収入	100,000	100,000	0
当期収入合計 (A)	15,276,000	12,276,000	3,000,000
前年度繰越収支差額	7,485,218	5,614,030	1,871,188
収入合計 (B)	22,761,218	17,890,030	4,871,188

(2) 支出の部

(単位：円)

科目	合計	通常会計	事業会計
1. 印刷費	4,300,000	4,300,000	—
2. 通信費	1,750,000	1,750,000	—
3. 会議費	500,000	500,000	—
4. 旅費	400,000	400,000	—
5. 人件費	3,500,000	3,500,000	—
6. 消耗品費	300,000	300,000	—
7. 支援費	550,000	550,000	—
8. 賃借料	472,500	472,500	—
9. 全国大会	3,000,000	—	3,000,000
10. 企画セミナー	300,000	—	300,000
11. 30周年記念事業	0	—	0
12. 雑費	700,000	700,000	—
13. 予備費	500,000	500,000	0
当期支出合計 (C)	16,272,500	12,972,500	3,300,000
当期収支差額 (A) - (C)	△ 996,500	△ 696,500	△ 300,000
次期繰越収支差額 (B) - (C)	6,488,718	4,917,530	1,571,188

2. 2007年度通常会計収支予算書（2007年4月1日から2008年3月31日）

(1) 収入の部

（単位：円）

科 目	2006年度予算	2007年度予算	差異	備考
1. 入会金	100,000	100,000	0	100人×1,000円
2. 会費	9,510,000	8,176,000	△1,334,000	
正会員	7,280,000	6,524,000	△756,000	932人×7,000円
準会員	480,000	552,000	72,000	138人×4,000円
企業・団体会員	1,750,000	1,100,000	△650,000	22社×50,000円
3. 資料販売等	3,200,000	2,900,000	△300,000	
研究報告	1,600,000	1,600,000	0	
学会誌・英文誌	1,600,000	1,300,000	△300,000	
4. 広告収入	1,000,000	1,000,000	0	学会誌広告掲載の為
5. 雑収入	200,000	100,000	△100,000	
当期収入合計 (A)	14,010,000	12,276,000	△1,734,000	
前期繰越収支差額	1,755,344	5,614,030	3,858,686	
収入合計 (B)	15,765,344	17,890,030	2,124,686	

(2) 支出の部

（単位：円）

科 目	2006年度予算	2007年度予算	差異	備考
1. 印刷費	5,450,000	4,300,000	△1,150,000	
学会誌	2,500,000	1,750,000	△750,000	
英文誌	900,000	900,000	0	
ニューズレター	450,000	450,000	0	
研究報告書	850,000	800,000	△50,000	印刷冊数の増加の為
封筒印刷費	350,000	300,000	△50,000	
その他印刷費	400,000	100,000	△300,000	
2. 通信費	2,000,000	1,750,000	△250,000	
3. 会議費	600,000	500,000	△100,000	
4. 旅費	400,000	400,000	0	
5. 人件費	3,600,000	3,500,000	△100,000	専従職員、アルバイト等
6. 消耗品費	500,000	300,000	△200,000	事務用品費等
7. 支援費	550,000	550,000	0	
支部支援費	60,000	60,000	0	3支部
研究会委員会	90,000	90,000	0	
その他支援費	400,000	400,000	0	
8. 賃借料	472,500	472,500	0	
9. 雑費	300,000	700,000	400,000	事務局移転費
10. 予備費	500,000	500,000	0	
当期支出合計 (C)	14,372,500	12,972,500	△1,400,000	
当期繰越収支差額 (A) - (C)	△362,500	△696,500	△334,000	
次期繰越収支差額 (B) - (C)	1,392,844	4,917,530	3,524,686	

3. 2007年度事業会計収支予算書（2007年4月1日から2008年3月31日）

(1) 収入の部

(単位：円)

科目	2006年度予算	2007年度予算	差異	備考
1. 全国大会	5,000,000	3,000,000	△ 2,000,000	
2. 企画セミナー	0	0	0	
3. 30周年記念事業	0	0	0	
4. 雑収入	0	0	0	
当期収入合計 (A)	5,000,000	3,000,000	△ 2,000,000	
前期繰越収支差額	1,223,796	1,871,188	647,392	
収入合計 (B)	6,223,796	4,871,188	△ 1,352,608	

(2) 支出の部

(単位：円)

科目	2006年度予算	2007年度予算	差異	備考
1. 全国大会	5,000,000	3,000,000	△ 2,000,000	
2. 企画セミナー	0	300,000	300,000	ICALT・ICCE 支援費
3. 30周年記念事業	799,400	0	△ 799,400	
4. 予備費	424,396	0	△ 424,396	
当期支出合計 (C)	6,223,796	3,300,000	△ 2,923,796	
当期繰越収支差額 (A) - (C)	△ 1,223,796	△ 300,000	923,796	
次期繰越収支差額 (B) - (C)	0	1,571,188	1,571,188	

第6号議案 役員等の改選に関する件

選挙結果から会長候補として、
岡本敏雄（電気通信大学）

平成19年9月13日から平成21年9月総会日まで

第7号議案 規約改正に関する件

学会規約が一部改正された。

改正後	改正前
第3章 会員	第3章 会員
<p>第8条 本会の会費は、以下のとおりとする。</p> <p>(1) 正会員年額 7,000円 (2) 準会員年額 4,000円 (3) 企業・団体会員年額 50,000円（一口） (4) 名誉会員年額 不要</p> <p><u>なお、会員の支払期限は、当該年度の9月末迄とする。</u></p> <p>第9条 正会員、準会員および名誉会員は、機関誌等の配布を受け、会員として権利を行使することができる。但し、第8条で定める支払期限迄に会費を支払わなかった会員は、会費の支払期日以降、機関誌等の配布を受ける権利を失うものとする。また、その会員が支払期限後に会費を支払ったとしても、不払期間に発行された機関誌等の配布は受けられないものとする。</p> <p>第10条 企業・団体会員は、本会の事業の成果の報告を受けることができる。なお、一口につきその企業・団体に所属する者を2名まで正会員として登録できる。</p> <p>第11条 会員は、次の理由によってその資格を喪失する。</p> <p>(1) 退会 (2) 当該年度を含め3年以上会費を支払わない場合 (3) 禁治産および準禁治産の宣告 (4) 死亡、失踪宣告、団体会員にあつてはその団体の解散 (5) 除名</p>	<p>第8条 本会の会費は、以下のとおりとする。</p> <p>(1) 正会員年額 7,000円 (2) 準会員年額 4,000円 (3) 企業・団体会員年額 50,000円（一口） (4) 名誉会員年額 不要</p> <p>第9条 正会員、準会員および名誉会員は、機関誌の配布を受け、会員として権利を行使することができる。</p> <p>第10条 企業・団体会員は、本会の事業の成果の報告を受けることができる。なお、一口につきその企業・団体に所属する者を2名まで正会員として登録できる。</p> <p>第11条 会員は、次の理由によってその資格を喪失する。</p> <p>(1) 退会 (2) 禁治産および準禁治産の宣告 (3) 死亡、失踪宣告、団体会員にあつてはその団体の解散 (4) 除名</p>

以上

《予告》

次年度全国大会は熊本大学にて開催されます。
内容につきましては、決まり次第、順次ホームページとニューズレターでお知らせ致します。

国際会議の案内

国際会議は、教育システム情報学会の会員のみなさんからの紹介やインターネット上で流れている CFP 情報をもとに編集されています。会員のみなさんに紹介したい国際会議などがありましたら、下記までご連絡ください。

また、実際に国際会議に参加されたレポートなどを送っていただければ今後の国際会議の案内作成の際に大変参考になりますので、そちらのほうもお待ちしております。

新規情報 3 件（論文応募締切がこれからのもの）

IUI2008 : 2008 International Conference on Intelligent User Interfaces

開催日程 : 2008年1月13-16日

主催 : ACM

論文応募締切 : 2007年10月1日（世界時21時）

開催地 : スペイン領カナリー諸島

URL : <http://iuiconf.org/>

ED-MEDIA2008 : World Conference on Educational Multimedia, Hypermedia and Telecommunications

開催日程 : 2008年6月30日～7月4日

主催 : AACE

論文応募締切 : 2007年12月19日

開催地 : オーストリア, ウィーン

URL : <http://www.aace.org/CONF/EDMEDIA/>

SITE2008

開催日程 : 2008年3月3日～7日

主催 : AACE

論文応募締切 : 2007年10月22日

開催地 : USA, ラスベガス

URL : <http://www.aace.org/CONF/site/>

再掲情報 2 件（論文応募締切の過ぎているもの）

ICCE2007 : 15th International Conference on Computers in Education

開催日程 : 2007年11月5-9日

主催 : APSCE (Asia-Pacific Society for Computers in Education)

共催 : 教育システム情報学会、教育工学会

開催地 : 広島、日本

URL : <http://www.icce2007.info/>

ISWC 2007 : 6th International Semantic Web Conference

開催日程 : 2007年11月11-15日

主催 : Semantic Web Science Association

開催地 : Busan, KOREA

URL : <http://iswc2007.semanticweb.org/>

国際会議案内文責 曾我 真人 (和歌山大学)

E-mail : soga@sys.wakayama-u.ac.jp

ITS2008 (Intelligent Tutoring Systems 2008) のご案内

●●開催日：2008年6月23日～27日●●

●●場所：モントリオール●●

=Call for Papers=

Since the first ITS conference in 1988, a long road has been travelled by researchers in the ITS community. To celebrate its 20th anniversary, the conference returns to Montreal, where it started. This symbolic milestone will be a good time for looking back at what has been achieved and what is currently done, in order to face the challenges of tomorrow.

■Important Dates

January 18, 2008 - Paper & Poster submission

January 18, 2008 - Workshop & tutorial proposal due

March 20, 2008 - Notification of acceptance

April 6, 2008 - Copyright form submission

April 6, 2008 - Final camera-ready manuscript

April 16, 2008 - Author registration deadline

April 20 to May 8, 2008 - Workshop, Demonstrations and Tutorial deadlines

■Areas of Interest

Original papers related to the design, implementation and evaluation of intelligent tutoring systems are solicited. Topics include, but are not limited to, the followings:

Adaptive Hypermedia	Intelligent Multimedia Systems
Affect and Models of Emotion	Internet Environments
Agent-based Tutoring Systems	Knowledge Acquisition
Architectures	Knowledge Construction
Assessment	Knowledge Representation
Authoring Systems	Learning Companions
Case-Based Reasoning Systems	Learning Environments
Cognitive Modeling	Machine Learning in ITS
Collaborative Learning	Narratives in Learning, Natural Language and Discourse
Digital Learning Games	Pedagogical Agent
Distributed Learning Environments	Pedagogical Planning
Electronic Commerce and Learning	Situated Learning
Evaluation of Instructional Systems	Speech and Dialogue Systems
Human Factors and Interface Design	Student Modeling
Instructional Design	Virtual Reality
Instructor Networking	Web-based Training Systems
Intelligent Agents	Wireless and Mobile Learning
Intelligent Web-Based Learning	

■Committees

Conference Chairs	Susanne Lajoie, Canada Roger Nkambou, Canada
General Chairs	Claude Frasson, Canada Gilles Gauthier, Canada
Program Chairs	Esma Aimeur, Canada Beverly P. Woolf, USA
Local Arrangements Chair	Jacqueline Bourdeau, Canada
Panel Chairs	Riichiro Mizoguchi, Japan Kenneth Koedinger, USA
Workshop Chairs	Tak-Wai Chan, Taiwan Roger Azevedo, USA
Tutorial Chairs	Peter Brusilovsky, USA Valery Shute, USA
Poster Chairs	Judy Kay, Australia Cristina Conati, Canada
Demo Chair	Neil Heffernan, USA Aude Dufresne, Canada
Young Researchers Track Chairs	Guy Gouaderes, France Rosa Maria Vicari, Brazil

■In cooperation with

SIGCSE
SIGAPP.fr
American Association for Artificial Intelligence
IEEE CS Technical Committee on Learning Technology
AIED Society
Japanese Society for Information and Systems in Education
Japanese Society for Artificial Intelligence

Proceedings of the conference will be published by Springer Verlag in its Lecture Notes in Computer Science series.

Website : <http://gdac.dinfo.uqam.ca/its2008/>

【お問い合わせ先】

溝口理一郎 (大阪大学)

E-mail: miz@ei.sanken.osaka-u.ac.jp

「大学における情報教育の新たな展開 —教科「情報」との接続性— 及び 一般」

担当：研究会委員会 松永 公廣／西野 和典

2007 年 3 月 17 日 (土) に千里金蘭大学において表記研究会を開催しました。研究発表件数も 29 件となり、そして出席者も 60 余名を迎えて、午前 10 時から午後 5 時まで、熱のこもった発表と活発な質疑応答がなされました。発表内容は、「e ラーニングの実践と評価」に関するものが 6 件、「情報教育」に関する内容が 13 件、「情報教育関連の授業支援システムの開発と実践」が 10 件でした。全国各地から多くの先生や大学院生参加され、同じ分野をさまざまな視点から討論した非常に有意義な研究会となりました。2007 年も同じ時期に静岡大学で開催予定です。さらに気持ちのよい研究にしたいものです。

◆◇ 研究報告のお求めは ◇◆

研究報告のバックナンバーを購入ご希望の方は、株式会社毎日学術フォーラムまでお申し込みください。1 部 1,300 円 (送料共) です。残部切れの際はご容赦ください。

株式会社毎日学術フォーラム

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-1-1 パレスサイドビル2階 (東コア)
TEL 03-6267-4550 FAX 03-6267-4555
e-mail maf-sales@mycom.co.jp URL <http://maf.mycom.co.jp>

なお、JSiSE 会員で「研究報告」の年間購読 (購読料は送料込みで年間 4,000 円) をご希望の方は JSiSE 事務局 TEL (06-6990-3638), Eメール (secretariat@jsise.org) までご連絡ください (年間 6 回)。

この際、ぜひ年間購読されますようおすすめいたします。

(教育システム情報学会 研究会委員会委員長／竹内章)

2007年度第3回研究会 プログラム

担当： 柏原昭博，平嶋 宗，曾我真人，小尻智子（研究会委員会）

■テーマ：問題を中心とした学習支援およびスキル支援／一般

■開催日：2007年10月20日（土）

■会場：名古屋大学 IB 電子情報館（予定） 〒464-8603 名古屋市千種区不老町

<http://www.nagoya-u.ac.jp/>

■プログラム：

1件あたり，発表20分，質疑10分

※止む終えない事情により，プログラムは，一部変更になる場合もありますので，ご了承下さい。

10:30～ 挨拶（5分）

[1] 10:35-11:05

協調学習履歴からの問題解決シナリオの抽出

○ 笥将英、小尻智子、渡邊豊英（名古屋大学大学院）

山田武士、岩田具治（NTTコミュニケーション科学基礎研究所）

[2] 11:05-11:35

作問に基づく学習コミュニティ支援システムとその適用

○ 平井佑樹、樫山淳雄（東京学芸大学大学院）

[3] 11:35-12:05

動画を用いた組立てスキル学習支援環境の検討

○ 浦尾 彰、三輪和久（名古屋大学大学院）

お昼休み

[4] 13:30-14:00

ディベートによる情報活用の実践力の育成 —高校生を対象とした授業実践—

福上慎吾、○野崎浩成、江島徹郎、梅田恭子（愛知教育大学）

[5] 14:00-14:30

情報活用能力を育成するためのリテラシー教育とその評価法について

○ 村上広一、山崎初夫、寺田幸正（名城大学）

[15分] 休憩

[6] 14:45-15:15

ダイアグラムによる交渉の解析

○ 三浦隆志、片上大輔、新田克己（東京工業大学大学院）

[7] 15:15-15:45

Development of tutoring system to understand loan interest rate decision theory

○ 中村正治（金城学院大学）、中山恵子（中京大学）、近藤 仁（南山大学）

15:45～ 挨拶

■お問い合わせ先： 小尻智子（名古屋大学）

Tel: 052-789-5144

E-mail: kojiri@nagoya-u.jp

2007年度第4回研究会プログラム

担当：米澤宣義，黒瀬能幸，林 敏浩（研究会委員会）

■テーマ：生涯学習につながる初等中等教育機関へのICT学習支援／その他
-理科離れ、物作り離れを防ぐICT-

■開催日：2007年11月24日（土）

■会場：香川大学幸町キャンパス研究交流棟5階研究交流スペース 〒760-8521 香川県高松市幸町1-1

<http://www.kagawa-u.ac.jp/info/map/saiwai.html>

http://www.kagawa-u.ac.jp/info/map/campusmap/saiwai_campus.html

■プログラム：発表時間15分、質疑応答7分 計22分

8:30～ 受付開始

9:00～9:05 開会の挨拶

9:05～10:33 セッション1：履修支援・遠隔教育（4件）

1. 活性伝播モデルに基づく履修スケジューリング支援システムとその評価
○高橋和麻，堀幸雄，今井慈郎（香川大学）
2. 学習教育目標を考慮した達成度評価支援のためのポートフォリオシステムの提案
○越智洋司（近畿大学）
3. 遠隔学習者の履修情報を基にしたサポート支援システムについて
○山下純矢，右代美香，新村正明，國宗永佳，不破 泰（信州大）
4. 音声認識技術を利用した多地点カメラ制御システム
○溝渕昭二，越智洋司，井口信和，佐野到，向井苑生，木村隆良（近畿大学）

10:33～10:45 休憩

10:45～12:57 セッション2：e-Learning（6件）

5. 現代版モジュール訓練の実現に向けた Learning Management System の開発
-Ajax を利用したリアルタイムな学習状況提示機能-
○池田秀聡（四国職業能力開発大学校），藤田紀勝（職業能力開発総合大学校）
6. 多様な問題を利用可能なオンラインテストシステムの Moodle 移植について
○松本拓馬（信州大学大学院工学系研究科），國宗永佳，新村正明（信州大学 工学部），
和崎克己，不破泰（信州大学大学院 工学系研究科）
7. 様々なオンラインテストシステムの学習履歴情報を Moodle で管理するための
汎用インターフェイスの提案
○五月女雄一（信州大学大学院），新村正明，國宗永佳（信州大学），不破泰（信州大学大学院）
8. 活性化評価パラメータに基づく学習状況可視化システム-活性化評価パラメータの検証-
○立石真也（四国職業能力開発大学校），藤田紀勝（職業能力開発総合大学校）
9. Web 教材への書き込みの共有によるコミュニケーション機能の検討
○横山健造（信州大学大学院），滝澤 武（信州大学），平松 卓也（信州大学），新村正明（信州大学），
國宗永佳（信州大学），和崎克己（信州大学大学院），不破泰（信州大学大学院）

10. Web からのレポート作成支援システムと e-Learning の融合
○中谷俊介, 光原弘幸 (徳島大学大学院), 金西計英 (徳島大学高度情報化基盤センター),
矢野米雄 (徳島大学大学院)

13:00~14:00 昼食

14:00~15:40 セッション 3 : 初等中等教育での ICT 活用 (5 件)

11. ロボット教材を用いたものづくり教育
○石原秀則 (香川大学)
12. 草花の観察についての電子掲示板交流学习の実践
○藤本義博 (岡山県倉敷市立西中学校), 宮地功 (岡山理科大学総合情報学部)
13. 体験・観察学習のためのユビキタス植生ハウスの開発~高校生と共に取り組むものづくり研究~
山田成仙 (佐賀大学・塩田工業高等学校), ○渡辺健次, 大谷誠, 岡崎泰久 (佐賀大学)
14. 3次元 CG アニメーションを用いた初等教育教材の開発
○松下孝太郎, 西田隼人, 古谷信吾, 鈴木英男, 布広永示 (東京情報大学)
15. 特別支援教育における Web データベースを用いた生涯学習支援
○永森 正仁 (長岡技術科学大学), 長澤正樹 (新潟大学), 植野真臣 (電気通信大学)

15:40~16:00 休憩

16:00~18:12 セッション 4 : 教育支援システム (6 件)

16. 遺伝的アルゴリズム用いたパズル型学習支援システム
○米山勇次, 松下孝太郎, マッキン・ケネス・ジェームス,
大城正典, 山崎和子, 布広永示 (東京情報大学)
17. ボードゲーム戦略を題材とする問題解決型プログラミング演習支援
-試行錯誤的な戦略作成の支援環境とサンプル提示-
○尾崎浩和, 富永浩之, 林敏浩, 垂水浩幸 (香川大学)
18. 教育用システム記述言語 C--
○重村哲至 (徳山工業高等専門学校), 古川達也, 相知政司 (佐賀大学),
林敏浩 (香川大学), 土橋壘 (富士通 (株))
19. 仮想通貨を用いた知識売買環境における変動相場制の導入
○赤塚将人, 光原弘幸 (徳島大学大学院),
金西計英 (徳島大学高度情報化基盤センター), 矢野米雄 (徳島大学大学院)
20. 検索エンジンを利用した多言語作文支援ツール
○綱嶋祐一, 安藤一秋, 岡田壮史 (香川大学)
21. 音声合成技術を活用した英会話学習支援システム
○日下大輔, 堀幸雄, 今井慈郎 (香川大学)

18:20 閉会

■お問い合わせ先: 林敏浩 (香川大学) Tel : 087-864-2227 E-mail: hayashi@eng.kagawa-u.ac.jp

2007年度第5回研究会 講演募集

担当：渡辺成良，佐々木 整（研究会委員会）

■テーマ：モバイル・ユビキタス学習環境／一般

■開催日：2008年1月25日（金）

■会 場：八王子学園都市センター
東京都八王子市旭町9番1号
八王子（東急）スクエアビル 12階 第1セミナーホール
<http://www.hachiojibunka.or.jp/gakuen/gakuenn-top.htm>

■主 旨：

インターネットをはじめとする情報通信技術は、近年目覚ましい勢いで進歩しており、教育内容や学習環境が大きく変化しています。特に、様々な場所に情報を埋め込むとともに、どこからでも情報にアクセス可能とするユビキタス・モバイル技術は、現在の教育や学習のあり方そのものに変革をもたらす可能性を秘めており、非常に注目されています。今回の第5回研究会では、こうした背景を踏まえて、昨年度と同様にモバイル・ユビキタス技術を利用した教育実践や、最先端の教育・学習支援システム開発の発表を予定しております。奮って、ご参加ください。

■発表申込み：※発表申込み締切：2007年11月22日（木）
以下の事項を電子メールにてお送りください。

1. 発表タイトル
2. 発表者・所属（登壇者に○）
3. 発表概要（100字程度）
4. 連絡先住所・氏名・電子メールアドレス
5. その他（使用機器など）
6. 申込先：拓殖大学 佐々木 整
sasaki@cs.takushoku-u.ac.jp

■発表原稿の提出：※発表原稿提出締切：2007年12月21日（金）

1. 原稿はA4用紙で、2枚以上8枚以下の偶数枚でお願いします。
2. 原稿は、学会誌巻末に掲載している学会誌原稿執筆要項に準拠してください。
3. 原稿送付先
 - 郵便で送付される場合
〒533-8533 大阪市東淀川区大隅 2-2-8
大阪経済大学内 教育システム情報学会事務局
 - 電子メールで送付される場合
e-mail secretariat@jsise.org
(注) PDF形式にて送信下さい。

■お問い合わせ先：

拓殖大学 佐々木整

Tel：042-665-8514 E-mail：sasaki@cs.takushoku-u.ac.jp

2007年度第6回研究会 講演募集

担当：松居辰則，小西達裕，松永公廣，西野和典（研究会委員会）

教育システム情報学会では2009年1月に学会誌特集号「次世代情報教育の構築に向けて」の発行を企画しておりますが、この特集号企画の活性化をはかるため、通例の第6回研究会を特集研究会の形式で開催いたします。この度、研究発表を募集いたしますので奮ってご投稿ください。

■テーマ：次世代情報教育の構築に向けて／一般

■開催日：2008年3月15日（土）

■会場：静岡大学情報学部

アクセス <http://www.shizuoka.ac.jp/ippan/hamamatsu.html>

■発表申込締切：2008年1月11日（金）

■発表原稿提出締切：2008年2月1日（金）

■特集研究会とは：

本研究会は、学会誌特集号に投稿される論文を質・量ともに充実させることをめざし、以下のように研究会発表をベースとした学会誌特集号への論文投稿を支援いたします。

- ・ ご希望のあった研究発表に対して、研究会委員会によるコメントを著者へお返しします。コメントを参考として学会誌への投稿論文をご執筆いただければ幸いです。
- ・ 優秀と認められる研究発表については、研究会委員会から学会誌編集委員会への推薦を行います。学会誌編集委員会では推薦理由を踏まえて査読・審査を行います。

※ 研究発表お申し込みの際には、コメント希望の有無をお知らせください。

※ コメントを希望する場合、研究会原稿のフォーマットは学会誌に準じたものとなります。またページ数上限は8となります。論文種別によりページ数が異なりますので、学会誌原稿執筆要領を参考にされて執筆してください。

ご参考： 学会誌原稿執筆要領 <http://www.jsise.org/ed/Subguide.html>

このページの5. の項をご参照ください。

■テーマ・対象分野：

初等・中等教育から高等教育，生涯教育に至るまで，これまでに例を見ない規模で情報教育が実践されるようになりました。教育内容が充実するとともに，さまざまなメディアやシステムを活用した情報教育が研究され，実践されています。小・中・高等学校では情報教育が教育課程に組み込まれ，大学の情報教育も，それを受けて教育内容や方法の見直しが進められています。また，情報通信技術（ICT）を教育内容として取り入れるだけでなく，授業支援として利用したり，新たなシステムを開発して情報教育で活用するような試みもあります。

このような現状を踏まえ，次世代の情報教育の目標，内容，方法，評価等を方向付けるためにも，これまでに実践されてきた情報教育の成果を論文としてまとめて共有することは有意義であると考え，ここに情報教育に関する特集号を企画いたしました。

具体的なキーワードとしては次のようなものを挙げることはできますが，これらに限りません。広く情報教育に関する論文を募集いたします。

ICTを活用した情報教育,
情報処理教育,
プログラミング教育,
情報教育の教材および環境開発,
情報リテラシー教育,
情報活用能力の育成,
情報の科学的な理解,
初等教育・中等教育・高等教育・生涯教育における情報教育の実践,
情報倫理教育,
情報教育の内容・方法・評価,
情報教育指導者の育成・研修,
情報教育の理論・デザイン、コミュニケーション、プレゼンテーション、など

■発表申し込み要領：

以下のフォーマットにご記入の上、担当委員の松永 (matunaga@kjo.setsunan.ac.jp) まで電子メールでお送りください。その際の subject は必ず“教育システム情報学会第6回研究会申込”としてください。

- (1) 発表タイトル
- (2) 著者名・所属（登壇者に○）
- (3) 発表概要（200字程度）
- (4) 連絡先住所・氏名・電話番号・メールアドレス
- (5) 研究会委員会によるコメントを（希望する / 希望しない）

■発表原稿の提出要領：

- (1) 原稿はA4用紙で、2枚以上8枚以下の偶数枚でお願いします。
- (2) 原稿は、学会誌巻末に掲載している学会誌原稿執筆要項に準拠してください。
- (3) 原稿送付先

●郵便で送付される場合

572-8508 大阪府寝屋川市池田中町17-8
摂南大学経営情報学部 松永公廣 宛

●電子メールで送付される場合

matunaga@kjo.setsunan.ac.jp

(注) PDF形式にて送信下さい。

■担当者（お問い合わせ先）：

松居辰則（早稲田大学）(matsui-t@waseda.jp)

小西達裕（静岡大学）(konishi@inf.shizuoka.ac.jp)

松永公廣（摂南大学）(matunaga@kjo.setsunan.ac.jp)

西野和典（九州工業大学）(nishinok@iizuka.isc.kyutech.ac.jp)